

立山町立谷口公民館

◆事業の目的

星の観察会をとおして、親子で自然の素晴らしさ、偉大さを感じるなかで「豊かな心を増やし育む」「人と人とのつながり・絆を深める」ことを目的とする。

◆事業の流れ

実施日	活動名	場所	参加人数
6月9日(土)	天体望遠鏡を作ろう	立山町立谷口公民館	15名
7月7日(土)	夏の星座を探そう	立山町立谷口公民館	27名
10月13日(土)	秋の星座を探そう	立山町立谷口公民館	12名
12月15日(土)	冬の星座を探そう	立山町立谷口公民館	24名
1月26日(土)	冬の星座を探そう	立山町立谷口公民館	6名

◆事業の様子

☆ 天体望遠鏡を作ろう

親子、家族での参加者がありました。子どもだけでは難しく、大人も夢中になりながら手を出し過ぎない程度に教え、できるだけ子ども達だけで作製しました。その分、子ども達の達成感も大きく喜んでいました。



☆ 夏の星座を探そう

あいにくの雨となり観測はできませんでした。せっかく集まってくれた子ども達に、講師より「星の話」をしていただきました。



☆ 秋の星座を探そう

今回も雨でした。講師より「星・宇宙」について話を伺いました。低学年には難しいが、夢中になって聞き入っている子どももおり、とても有意義な話を聞けました。終了後、残っていた数人が雨雲の切れ間に、土星を観る事ができ感動していました。



☆ 冬の星座を探そう

今回は雪でした。なかなか観測できない子ども達ですが、本日も、講師より「星・宇宙」の続きを聞きました。全員が次回は観れることを願いました。

☆ 冬の星座を探そう

今回は雪でした。観測ができることを期待して、まず、望遠鏡の使い方を教えていただき、今年度のまとめをしました。約1時間後に、雪の降る中の雲の合間から月が観えました。月と雪のコラボに参加者は感動していました。



◆事業の成果と課題

本事業の天体観測は、天候に左右されやすく希望どおりにはいかないことが多かった。

開催日が雨の時は、晴れることを願いながら講師のかたに「星の話」をしていただきました。話もとても有意義な内容であるため、参加者の「星」に対する考え方、見方も変わったようだ。次回「星」が観られた時の参加者は喜びも倍増し感動していた。天候に左右されない日程を組む難しさに頭を悩ませたが、引き続き「天体観測会」を実施していくことで目的を続行します。